

令和6年度（2学年用）

教科：地歴

科目：日本史探究

教科：地歴

科目：日本史探究

単位数：3単位

対象学年組：第2学年1組～6組

教科担当者：（1組：加藤）（2組：小川）（3組：加藤）（4組：小川）（5組：加藤）（6組：小川）

使用教科書：（日本史探究（東京書籍））

教科 地歴

の目標：

【知識・技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力】

歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身に付ける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配 当 時 数
1 学 期	第1章 近世社会の形成 ・地球的世界の形成と日本 ・織豊政権による全国統一	・南蛮人との接触について、世界の動きの視点から捉え、南蛮貿易によって日本社会がどのように変化したのかを考察する。 ・織豊政権の統一事業について、外交と国内政策の視点で理解し、桃山文化との関係性を整理する。	○	○	○	5
	第2章 歴史資料と近世の展望 ・参勤交代と幕藩体制 ・百姓たちの生活世界 ・江戸時代の対外関係	・幕藩体制の確立について理解し、鎖国体制について考察する。 ・江戸時代の対外関係に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ・江戸時代の対外関係に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		1
	第3章 近世社会の展開 ・江戸幕府と大名 ・朝廷近世の身分と人々の暮らし ・アジアのなかの幕藩体制	・江戸時代の対外関係に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ・近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	○	○	○	7
	・武断政治から文治政治へ ・幕藩体制下の社会の発展	・時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、「武断政治から文治政治へ」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、幕府政治の転換について理解する。 ・「江戸幕府と大名・朝廷」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の支配のしくみについて理解する。	○	○	○	3
	・享保の改革と経済の発展 ・近世社会の成熟と危機の始まり ・幕藩体制の立て直し ・幕藩体制の動揺	・享保の改革を実施した背景や課題について、社会・経済のしくみの変化 などに着目して考察し、その結果を表現する。 ・18世紀後半の政治や文化にはどのような社会背景があったのかなどの課題について、政治・経済と文化の関係などに着目して考察する。 ・寛政の改革を実施した背景や課題について、国際情勢の変化と影響などに着目して考察する。 ・天保の改革を実施した背景や課題について、幕府や諸藩の政策の変化などを考察する。	○	○	○	11
	・開国と開港 ・幕府の崩壊と明治維新	・列強の東アジア進出や日本の開国と開港、それらが国内に及ぼした影響などについて、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解する。 ・江戸幕府が崩壊する要因や、明治新政府による諸政策の意図などについて、諸資料から適切かつ効果的に読み取り理解する。	○	○	○	5
	・資本主義の発展と生活 ・国民国家と政治参加 ・世界のなかの近現代日本	・資本主義の発展と生活に関する資料から日本経済と人々の生活の変化に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けてる。 ・国民国家と政治参加に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察する。 ・近現代の地域・日本と世界から近現代の特色に理解する。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		1
	・制度改革と殖産興業政策 ・文明開化と教育制度の整備	・明治初期の諸改革は、近世社会のしくみをどのように変えたかなどの課題について、地域社会の変化などに着目して考察する。 ・欧米の文化や思想は、のちの時代にどのような影響を与えたのかを考察する。	○	○	○	6
	・東アジア世界のなかの明治政府 ・政府専制への批判	・日本の近代化はどのような国際関係のなかで進められたのかなどの課題について、アジアや欧米諸国との関係などに着目して考察する。 ・自由民権運動が起こった背景や、明治政府の政策やその影響について考察する。	○	○	○	3
	・立憲政治の成立 ・対外関係の変容と日清戦争 ・産業革命と資本主義の定着 ・教育制度の整備と新しい文化	・立憲政治の成立によって、日本の国際的地位はどのように変化したのかを考察する。 ・日清戦争で日本が勝利したことにより国際関係はどのように変化したのかを理解する。 ・それぞれの産業はどのように発展したのかを考察する。 ・社会の変化は、文化や思想にどのような影響を与えたのか、当時の政治・経済などに着目して考察する。	○	○	○	4
	・日露戦争と帝国日本 ・日露戦争後の社会と政治	・日露戦争は、日本の国際的な地位をどのように変化させ、どのように国際関係が変化したのかを理解する。 ・日露戦争後の日本で、民衆の不満が高まった背景や原因、戦争が及ぼした影	○	○	○	3

2 学 期		響などに着目して考察する。	○	○	○	○
	定期考査		○	○		1
	・ 両大戦間期の日本	・ 産業の発達の背景と影響，地域社会における労働や生活の変化，戦争が及ぼした影響について理解する。	○	○	○	3
	・ 都市化・重工業化と生活の変化 ・ 政党政治とデモクラシー ・ 国際社会のなかの日本	・ 大正期の産業や文化にはどのようなものがあつたか理解し，産業の発達の背景や影響について考察する。 ・ 選挙権の拡大が起こった背景やその意義について考察し，地域社会における労働や生活の変化などを理解する。 ・ 第一次世界大戦中と戦後に日本はどのような国際関係を築いたのかを考察し，その結果を理解する。	○	○	○	5
	・ 第二次世界大戦と日本	・ 恐慌と国際関係，軍部の台頭と対外政策，戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ，第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会，国民生活の変容を理解する。	○	○	○	4
	・ 昭和恐慌と立憲政治の動揺 ・ 中国侵略と戦時体制への移行	・ 昭和初期の政治にはどのような特徴があつたののかについて，政治・経済体制の変化に着目しながら考察する。 ・ 日本が中国での戦争を拡大し，その結果どのような影響を社会に与えたのかについて，国際社会やアジア近隣諸国との関係について考察する。	○	○	○	5
	定期考査		○	○		1
3 学 期	・ 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	・ 第二次世界大戦が日本国民や世界の人々にあたえた影響や，これまでの戦争と異なっていた点を考察し，戦争の推移と国民生活への影響について理解する。	○	○	○	5
	・ 占領と改革	・ 占領政策と諸改革，日本国憲法の成立，戦後の経済復興など，我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係について理解する。	○	○	○	5
	・ 占領と日本国憲法の成立 ・ 冷戦の開始と経済復興	・ 戦後，政治や経済，社会などの各分野でどのような改革が進められたのかについて理解する。 ・ 国際情勢の変化は，日本の政治や経済，社会にどのような影響をおよぼしたのか，第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違について考察する。	○	○	○	5
	・ 国際社会への復帰と高度経済成長	・ 平和条約と独立の回復，高度経済成長など，我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解する。	○	○	○	5
	・ 国際社会への復帰と対米協調	・ 高度経済成長は社会にどのような影響を与えたのか，また冷戦の影響，国民の生活や地域社会の変化などについて考察する。	○	○	○	4
	定期考査		○	○		1

令和6年度（2学年用）

教科 公民

科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 1 組：渡邊 ） （ 2 組：渡邊 ） （ 3 組：渡邊 ） （ 4 組：渡邊 ） （ 5 組：渡邊 ） （ 6 組：渡邊 ）

使用教科書：（ 帝国書院 高等学校公共 ）

教科 公民

の目標：主権者、納税者としての自覚を持たせ、責任ある行動がとれる人間の育成を目指す

【知識・技能】現代の諸事象について、世界と其中的の日本を相互的な視点から捉え、諸資料から政治制度や経済システムに関する情報を調べまとめる技能を身につける。

【思考力・判断力・表現力】諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。

【主体的に学習に取り組む態度】日本や世界に関わる諸事象について、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

科目 公共	の目標：
【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、現代の社会のしくみを理解する。 技能：諸資料から政治や経済に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。
	【主体的に学習に取り組む態度】
	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元	指導項目・内容	知	思	主	配当 時数
1 学 期	青年期と社会参画	・現代社会の特徴について理解する。 ・青年期の特徴について知り、生き方について考える。 ・悩みや、学習することの意味について考える。 ・ジェンダーについて考え、現代社会が抱える問題について理解する。 ・社会参画について考え、働くことについての理解を深める。	○	○	○	8
	宗教・思想・伝統文化と社会	・宗教について知り、異文化理解について考える。 ・日本の文化や伝統について知り、世界の中の日本について客観的に見て、今後の日本のあり方について考える。	○	○	○	3
	定期考査		○	○		1
	社会の基本原則と憲法の考え方	・民主主義の原理について理解し、主権者としての自覚を持つ。 ・権利の主体としての自覚を持ち、他人の人権も尊重する姿勢を養う。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		1
2 学 期	民主社会と政治参加	・社会生活におけるルールの必要性や意味を考える。 ・裁判について知り、司法への参加の準備を整える。 ・議院内閣制について理解を深め、日本で政治に参加するための心構えを構築する。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		1
	国際政治の動向と平和の追求	・国際社会や国際法について知り、地球規模で物事を考える姿勢を身につける。 ・安全保障制度について理解し、世界平和について考え貢献できる方法を探る。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		1
3 学 期	市場経済のしくみ	・経済とは何かを知り、豊かな生活を送るために必要なことを理解する。 ・金融や財政の役割について知り、現在日本や世界が抱える問題について理解を深める。	○	○	○	10
	豊かな社会の実現	・豊かに生きるために作られた国の制度について知り、自身の人生をより豊かなものにするための助けとする。	○	○	○	8
	定期考査		○	○		1